Federal Ministry for Family Affairs, Senior Citizens, Women and Youth

G7 GERMANY 2015 | Schloss Elmau

unicef unite for children

IJAB International Youth Service of the Federal Republic of Germany

SUMMIT ´15
a G7 presidency event

ポジションペーパー

（日本語要約）

2015 年 5 月 11 日　ベルリン

J7 ユース・サミット
アジェンダ

1. 私たちの地球を守ろう
   - 1－1　海洋環境の保全
   - 1－2　資源の効率的な利用
2. 全ての人に健康な未来を
   - 2－1　薬剤耐性菌とパンデミック
   - 2－2　顧みられない病気
3. 女性や女の子のエンパワーメント
4. 公正な経済
5. 今こそ行動しよう

【アジェンダ 1】　Protecting our Planet
私たちの地球を守ろう

1－1　Protection of Marine Environment
海洋環境の保全

【課題１】　汚染（プラスチック・有害物質・ゴミ）
海洋汚染の問題解決のためには、生産過剰とそれが汚染に及ぼしている影響について理解を深める必要がある。また、汚染に対する責任の追及も海洋環境の効率的な保護のためには重要である。
【課題２】　海洋における生物多様性の破壊
海洋の生物多様性を守るためには、倫理的かつ責任ある漁業、より安全な海洋資源の採掘、またその地方レベルで海洋保護区域を管理、監視していくことが必要である。今後、国が地域レベルでの海洋保全の活動をサポートしていくことが、より効果的な海洋保全に繋がると考える。

【解決への提案】
1．　国際環境法の原則である「汚染者負担」の原則を徹底させる。
2．　海洋環境保護のための条約および国連海洋法条約を更新する。
3．　環境破壊が行われた際に市民が法に訴える権利について、国民の対話を促進する。
4．　さらに、「環境に対する共感と責任(E.E.A.)」という新しい法的拘束力のある政策を設立する。この政策は、先進国が途上国に対して、持続的かつ環境に優しい開発の方法を支援できる枠組みとなる。

1－2　Resource Efficiency
資源の効率的な利用

【課題１】　化石燃料の過剰使用による汚染
私たちは化石燃料などの再生不可能なエネルギーに依存しており、CO^2排出に対する大きな責任を負っている。原子力は危険も伴うが、短期的には温室効果ガスを排出する他

のエネルギーに比べればよいと考える。グリーンエネルギーは、まだ開発途上で効率的に使用できる段階には至っていない。

【解決への提案】

1. 低価格でより効率的な再生可能エネルギー技術の開発に、資金を充てる。
2. 持続可能な行動について学ぶプログラムを学校教育の中に導入する。
3. 法的手段を用いて、会社や個人に対し再生可能なエネルギーの使用を促す。
4. 企業に、資材の運搬に際し列車や船などの運版手段を共有するよう促す
5. ガス排出量の少ない乗り物および原子力の安全性向上のための研究に資金を充てる。

【課題２】 過剰生産と過剰消費

非効率的な生産と再生不可能な製品の過剰消費は、自然資源の枯渇を急激に加速している。

【解決への提案】

1. 研究機関等とパートナーシップを結び、ゴミ削減のための、生物分解性のある、または再利用できる素材開発に資金支援を行う。
2. 各国政府に、環境改善・CO^2削減・オゾン層の保護のための更なる政策を求める。
3. 食糧廃棄物を減らすための効率的な政策の施行を各国政府に働きかけると同時に、人々に消費削減のための啓発活動をおこなう。
4. 公共の水と衛生施設の過剰使用を減らすために、規制を強化する。
5. 生産者から消費者への流通システムにおいて資源の効率的な使用を統制できるよう、持続可能な生産と供給の実施政策を促進する。
6. 持続可能なエネルギーのより効率的な開発のための研究に対し、各国政府が投資するよう、呼びかける。

【課題３】 森林伐採と砂漠化

森林伐採は地球から貴重な酸素を奪っている。持続不可能な農業は非効率かつ有害である。さらに、世界中の国立公園が私的な商業目的のために荒らされている。

【解決への提案】

1. 持続可能な農業を推進する
2. 国立公園のネットワークを広げる
3. 環境の保護に貢献する組織に補助金を支給する

【行動のための提言】
私たちは、持続可能なプロジェクトを統括する大臣級委員会の設置を求める。この委員会は、地方レベルにおいて“climate lab and clubs”という名称のもとに、様々な立場の人を巻き込んで活動する。更に、国レベルでの環境サミットの年一回の開催を提唱する。化石燃料の使用が起こす脅威について人々を啓発する“環境大使”を任命する。また私たちは再生可能エネルギーについてのワークショップを開催していきたい。

我々Ｊ７の代表は“HEART=EARTH”イニシアチブを立ち上げ、それを通して私たちの考えを伝え、また途上国の若者に先進国がどのように環境問題を解決していくかを伝えていきたい。ＳＮＳ、メディアならびにその他の信頼できる組織の協力を得ながら、私たちは効率的に子どもたちを啓発していきたい。

【アジェンダ 2】　Building a Healthy Future for All
全ての人に健康な未来を

2－1　Antibiotic Resistance and Fighting Pandemics
薬剤耐性菌とパンデミック

【課題】
世界共通の適切な保健ケア制度がないことで、薬剤耐性菌やパンデミック（世界的流行病）による影響を世界中の多くの人々が受けている。薬剤耐性菌の問題がますます大きくなり、病気の感染が広範囲に広がるなか、もはやパンデミックは国際的問題になっている。薬剤耐性菌や流行病を予防する適切な解決法がないまま、毎日数えきれないほど多くの人々が命を落としている。

【解決への提案】
●薬剤耐性菌
1．　薬剤耐性菌の予防の進歩と、患者や医者への包括的な教育のため、地域での啓発活動や医者の能力育成など、公衆衛生プログラムを実施する。
2．　新しい治療法や代替療法の研究を促進させる。

3．　動物飼料から食糧供給連鎖への抗生物質の混入を防ぐため、農業での抗生物質の使用を削減させる。

●パンデミックの問題

1．　流行病の発生に備え、開発途上国のための緊急支援基金を設立する。
2．　衛生習慣や病気の予防法について、現地のコミュニティや患者、保健員に訓練を行う。
3．　国家レベルでパンデミックの発生をモニタリングする。
4．　住民のパニックを防ぎ、病気の感染コントロールを容易にするため、国内での病気に対する偏見や差別の払しょくを図る。
5．　G7 の協力のもと、ワクチンや治療法の研究を行う基金を設立する。

2－2　Neglected and Poverty-related Diseases
顧みられない病気

【課題】

貧困層を中心に流行する 17 種類の疾病、いわゆるで“顧みられない病気”で、世界の人口の約 20%にあたる 140 億人の人々が直接的な影響を受けている。この危険な疾病は、低所得の孤立した地域のみで流行している。流行の直接的な原因として、認識の不足、製薬業界の“顧みられない熱帯病”（NTD）治療薬への取り組み不足、貧困に関連する病の根絶に特化した組織の欠如、基本的な教育や医療への知識の不足の 4 点が挙げられる。

【解決への提案】

1．　NTD を根絶させるため、住民の認識を向上させるための啓発キャンペーンや資金調達キャンペーンを実施する。
2．　効果的で低コストの薬を必要な人々に届けるため、公平で競争のある市場をつくり、特許制度の見直しを行うとともに、薬の説明責任や信頼性を高める。
3．　現場の医療関係者の能力育成や資金調達なども担う、NTD の根絶に向けた取り組みに特化した団体を設立する。
4．　基本的な医療ケアの知識を得るためにも、世界中の子どもが初等教育を受けられるよう、万人のための教育への支援の強化を行う。

【アジェンダ 3】 Empowerment of Women and Girls
女性や女の子のエンパワーメント

【課題】
世界の多くの国で、女性は夫やパートナーに従属的な立場を強いられている。労働においては、得られる賃金は少なく、お金を自由に使うことができず、仕事を得るにも夫の承諾が必要な国もある。先進国にあっても、労働における性差別は存在し、母や妻の役割を期待される女性たちは、自身のキャリアをあきらめている。

【解決への提案】
1. 伝統的な男女の役割や労働における性差別意識を打破し、様々な職業を知り、また体験する機会を得ながら、労働におけるジェンダーの公平性を育んでいく教育を幼稚園から中等教育まで一貫しておこなう義務教育コース「Educate Respect」を導入する。
2. 起業を志す女性を支援する政府主導のプログラム「GOPWE」を立ち上げる。このプログラムでは、自ら事業をおこなっている女性や起業を目指す女性に、助言やビジネスアイデアを提供する国際会議の開催や政府からの起業資金貸付などをおこなう。
3. 世界中の女性がつながり、ビジネスやキャリアについて情報交換をするプラットフォームとなるウェブサイトを政府の資金で設置する。インターネットにアクセスできないコミュニティでは、発信される情報を必要とする人へ届ける仕組みをつくり、女性から女性への支援を促進する。

【アジェンダ 4】 Fair Economy
公正な経済

【課題】
今、世界経済は公正を欠いている。１億５千万人もの子どもが児童労働を強いられ、教育の機会を奪われている。また開発途上国では多くの人が、低賃金で過酷な労働に従事している。そうしたことが、貧困のサイクルを長期化させ、ひいては国の発展を阻害する要因にもなっている。

【解決への提案】

1. 先進国、特に G7 各国において、消費者への教育や啓蒙を目的とした官民共同のメディアキャンペーンや、労働環境改善のための取り組みを推進する。
2. 貧困家庭に対し、子どもに教育を与えるための助成金を支給し、子どもたちが児童労働から解放されて教育を受けられる仕組みをつくる。
3. 企業はその活動に責任を持ち、児童労働を禁止する法律に準拠しなくてはならず、違反した企業への罰則規定も必要である。公正な経済はまた、持続可能な経済でなければならず、環境に関する規定の企業の法的枠組みに加える。
4. 開発途上国の最低賃金などの労働条件を改善すると同時に、労働環境や労働者の権利、安全基準などを定めた世界の労働基準を導入する。
5. 子どもたちに関する持続可能な開発目標（SDG s ）に対して確かな投資をすると同時に、開発援助においても、子どもの貧困をなくし全ての子どもが健康に成長するための開発に優先的に資金を充てる。

【アジェンダ 5】　Act Now　～Youth Involvement～
今こそ行動しよう　～若者の参画～

【課題】

若者の参画には多くの障害が伴う。青少年省や青少年委員会などが存在しない国では、彼らの未来を左右する決議に若者が参加する機会が与えられていない。また、たとえこれらの機関が存在したとしても、その認知度は低い。若者は往々にして意思決定過程において自らの無力さを感じ、そしてそれは彼らを無関心・無活動へと導いてしまう。

【解決への提案】

1. 先進国においては、政府が非政府組織とパートナーシップを組み、若者を国の問題に参画させていくことを提案する。特に、国・地域・市町村レベルで青少年委員会を設置し、その決議は青少年や教育に携わる政府の専門家達と共有される必要がある。
2. 途上国においては、政府の支持が必ずしも保障されない途上国では、非政府組織や国際機関のサポートが重要となる。ユニセフや現地の教育機関の指導の下、途上国においても青少年委員会を設置していく。

3. 世界的なコミュニケーションを構築するために、私たちＪ７代表は、コミュニケーション・プラットフォームを設置し、より多くの若者に働きかけていく。SNS 等の手段を用いて、若者参画を促進していくとともに、子どもたちの誰もが変化を起こせることを伝えていく。
4. 若者の参画がまだ脆弱な国であっても、国・地域・市町村レベルで青少年委員会を設置することを政府に提唱する。また、教育現場においては市民教育を充実させ、また学校と青少年委員会が協力して活動していくことを提案する。
5. 最後に、J7 ユースサミットを毎年 G7 プロセスの中に組み込み、定例化することを政府に提言する。J7 は政治プロセスに若者の意見を取り入れていくため貴重な場となる。そのため、政府の承認のもと、毎年開催されることが重要である。

本ペーパーは、ベルリンで作成された『J7 2015 Position Paper』を、公益財団法人日本ユニセフ協会が、要約し仮訳したものです。